きんようぶんか 本 金曜日の本箱

恋をする子ども

松井るり子／著

学陽書房
1500円
ISBN4-313-66013-5

子どもを愛おしむ親、恋を知って育っていく子どもたち。恋をして親離れていく子どもたちと複雑な心境の親との関係を考える。

異性愛をめぐる対話

伊藤悟、築瀬竜太／著

飛鳥新社
1500円
ISBN4-87031-384-7

本誌に連載されたシリーズ「異性愛とは何か」を収録。同性愛、パートナーシップ、女性問題の視点から性について考えていく。

ジェンダー化する哲学

大越愛子、志水紀代子／編著

昭和堂
2400円
ISBN4-8122-9932-2

男性中心的論理体系から排除されてきた女性の経験を交え、思想体系の亀裂、矛盾、内的葛藤を浮き彫りにすることを試みる。

変わる妻たち

アゴ・ビュルキ＝フィレンツ／著
高尾浩幸／監訳
たかお　まゆみ／訳

新曜社
2500円
ISBN4-7885-0696-3

家庭の中で忙しく働く妻たち。しかし、それは自律的に生きることなのか？　隠された意識に気づいた妻たちはどうなるのか。

性愛対話

渥美雅子、村瀬幸浩／著

柏書房
1800円
ISBN4-7601-1829-2

不倫や夫婦関係などから具体的な性行為の快楽まで、「性」のかけがえのなさや深い意味について語った往復書簡による対話。

高学歴男性におくる弱腰矯正読本

須原一秀／著

新評論
1700円
ISBN4-7948-0473-3

何かをいくら見ていても飽きない気持ちを「変性意識」と言う。本著で「心の書き込み禁止ロック」を外す解放感を知るだろう。

男女平等への道

古舘真／著

明窓出版
1300円
ISBN4-89634-038-8

「男は王様、女は奴隷」だったのか？　男に生まれて得したことはないと語る著者が、男らしさ、女らしさ、フェミニズムを語る。

新女性を生きよ

朴婉緒／著
朴福美／訳

梨の木舎
2000円
ISBN4-8166-9903-1

韓国の女性作家の自伝。執筆にあたっては自分に正直になるのがもっとも困難だったという。人間の幸福とは何かを伝える。

もう消費すら快楽じゃない彼女へ

田口ランディ／著

晶文社
1600円
ISBN4-7949-6425-0

インターネットで文章を発表している著者の身近なエピソードから、性や愛、死ぬことや生きることを考えるエッセイ集。

フランスには、なぜ恋愛スキャンダルがないのか？

棚沢直子、草野いづみ／著

角川ソフィア文庫
600円
ISBN4-04-350001-7

大統領自身が「愛人と隠し子がいる。それがどうした」と公言する国、フランス。人生は恋愛芸術とまで言う国の姿を紹介。

仏教とジェンダー

女性と仏教　東海・関東ネットワーク／編

朱鷺書房
1600円
ISBN4-88602-175-1

女性差別が仏教に入り込んだのはいつか？　日蓮の女性観など、さまざまな角度から光を当てジェンダーイコールな仏教をめざす。

女性の社会的地位再考

網野善彦／著

御茶の水書房
800円
ISBN4-275-01773-0

なぜ女性は自らが参加していた生産労働から排除されていったのだろうか。女性の社会的役割・意義の大きさを検証する。

※価格はすべて本体価格（税別）です。